

真空吸引圧送システム

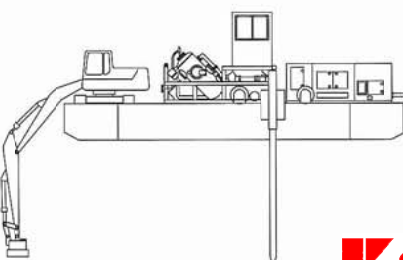
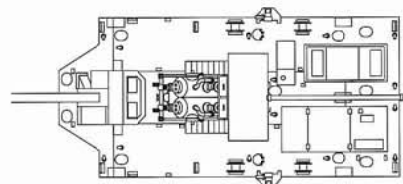
当社独自のシステムにより、真空吸引と加圧圧送を交互に行うことで、汚泥や砂の長距離、高揚程輸送を行うことができます。

連続吸引圧送システム

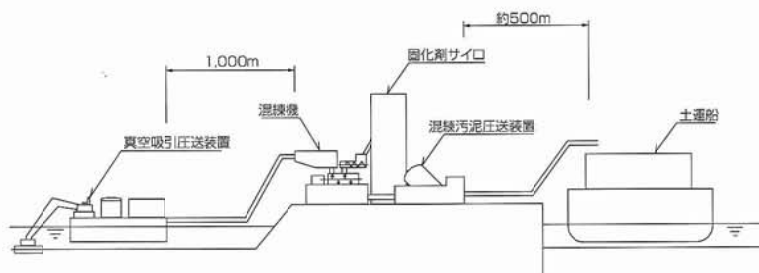
河川、湖、沼の汚泥の浚渫作業に最適であり、水底汚泥などを直接圧送タンクに吸引するクリーン工法です。



	全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	吃水 (mm)	重量 (Ton)	圧送配管	圧送距離 (m)	水深 (m)	能力(シルト、き水比150%) (m ³ /h)
SAP- 50	11,200	6,000	3,700	700	33.5	φ150	1,000	5	40
SAP-150	15,300	8,400	4,900	800	73.4	φ150	1,000	5	60
SAP-200	17,800	8,400	5,300	800	82.6	φ200	1,000	6	80

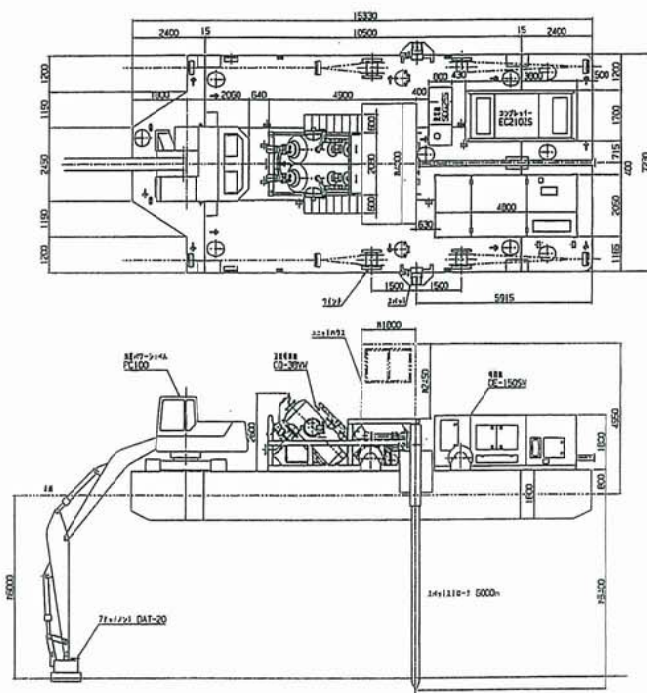


■システム図



真空吸引圧送システム 水底汚泥回収装置

PAT.No.1761688



	SAP-150	SAP-200
全長	15.3m	17.8m
全巾	8.4	8.4
全高	4.9	5.3
吃水	0.8	0.8
重量	73.4ton	82.6ton
圧送配管	150φ	200φ
圧送距離	1,000m	1,000m
水深	5.0m	6.0m
能力 (※水、含水比150%)	60m ³ /H	80m ³ /H

吸引回収物の含水比、粒度・堆積厚み、夾雑物等によって作業効率は変化致します。

真空吸引圧送システムの開発で水底汚泥の高濃度浚渫工事が可能となりました。

真空吸引圧送システムの特長

[I] 真空吸引で浚渫するので汚濁拡散が極めて少ない。



- ・シルトフェンスの設置が不要
- ・周囲水域の二次公害の発生がない
- ・見た目の不潔感がない

市街地、観光地、公園、飲料用水ダム等の工事に最適です

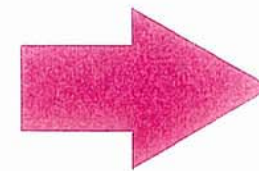
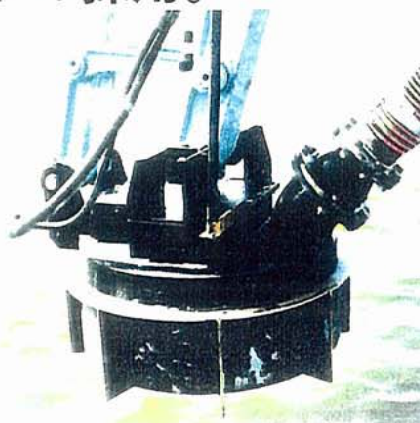
[II] 水底吸引から最終処理場までクローズドシステムである。



- ・汚泥の飛散がない
- ・悪臭の心配がない

[III] セルフシールのドラムアタッチメントの採用。

- ・薄層での高含泥率の回収が可能となった
- ・噛込み自動復帰で連続作業ができる
- ・回転ドラムアタッチメントで全方向の作業ができる



直接固化剤投入混練ができ、ヘドロの効果的な再資源化が可能

[IV] 高含泥率回収で固化剤の粉体直接投入混練が可能。



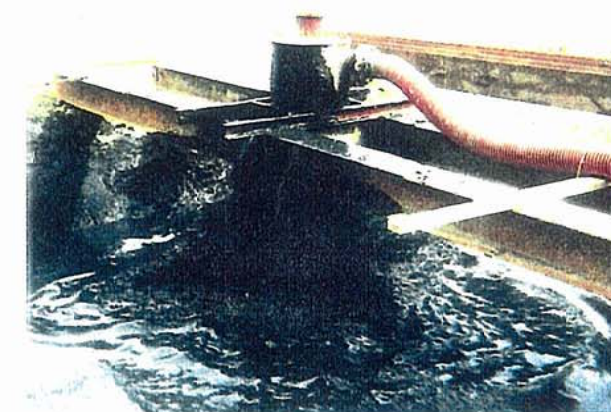
- ・固化剤の使用料が低減
- ・余水処理の省力化
- ・投入量の調整が簡単

[V] 高含泥率回収で効率的な密閉ダンプ運搬が可能。

・含泥率実績 65% ~ 85%



受入れホッパー



ピットに排泥中



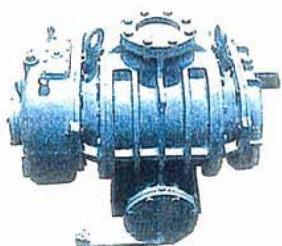
固化後ダンプ搬出



埋立地での経過観察

各ユニットは陸送可能なサイズで組立も簡単な構造となっています。

堅牢で高性能の湿式ルーツブロアー



心臓部には長年の実績のある、パワープロベスターに採用している湿式ルーツブロアーを採用していますので長期間連続使用にも安心して使えます。
高真空、大風量で高濃度吸引が可能となりました。

台船も数本のボルトで組立できます。

連続吸排機



独自に開発された機構で機械回転部、摺動部を無くし回収物の噛込み、閉塞を無くしました。又、高真空と高圧空気の切替により高濃度スラリーの長距離輸送を可能としました。



混練機組立中



混練機

固化剤の粉体直接投入混練を可能としました。